

Hitachi Koki

日立ベルトサンダ

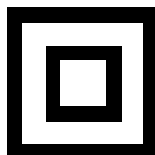
76 × 533 mm **SB 8TB**

76 × 533 mm **SB 8TB (B)** [サブグリップ付]

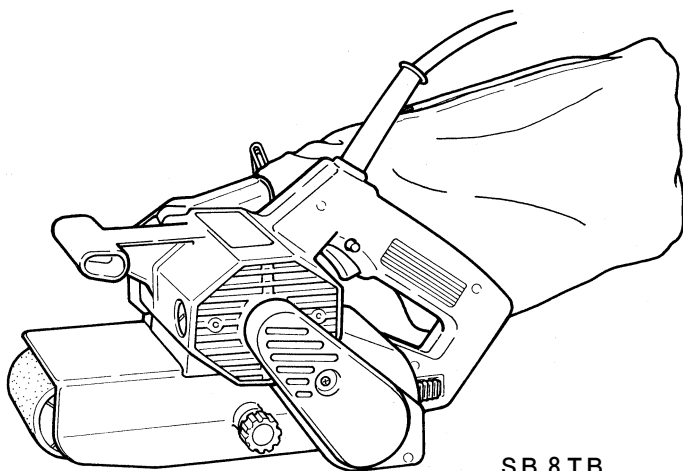
110 × 620 mm **SB 11**

取扱説明書

このたびは日立ベルトサンダをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



SB 8TB




HITACHI


目 次


ページ


電動工具の安全上のご注意	2
ベルトサンダの使用上のご注意	5
各部の名称	7
仕 様	8
標準付属品	8
別売部品	8
用 途	9
作業前の準備	9
ご使用前に	10
研磨の仕方	11
研磨ベルトの取付け・取りはずし	14
粉じんの除去	15
保守・点検	15
ご修理のときは	17
全国営業拠点	裏表紙


警告， 注意， 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「 注」の意味も説明します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なお注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体を、アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

 **警 告**

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。**
 - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警 告

⑰ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑱ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

⑲ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

⑳ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

□ 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり、この製品には“□”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。

電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにご用命ください。

ベルトサンダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ベルトサンダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警 告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- ② 水、研削液などは使用しないでください。

乾式用のため、感電の恐れがあります。

- ③ さし込みプラグを電源にさし込むときは、スイッチが切れていることを確かめてください。

スイッチが入っていると、機体が走り出し、けがの原因になります。

- ④ 鋼板などの研磨のときは、研磨粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研磨火花を直接手足などに当てないようにしてください。

火災ややけどの原因になります。

- ⑤ 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。

けがの原因になります。

- ⑥ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。

そのまま使用していると、けがの原因になります。

- ⑦ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

- ⑧ 次の場合は、ダストバッグを掃除し、粉じんを取り除いてください。

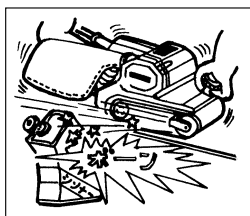
ダストバッグに残った粉じんは発火の原因になります。


- 木材などを研磨した後に、鋼板を研磨するとき
- 研磨作業を終えたとき

③



④

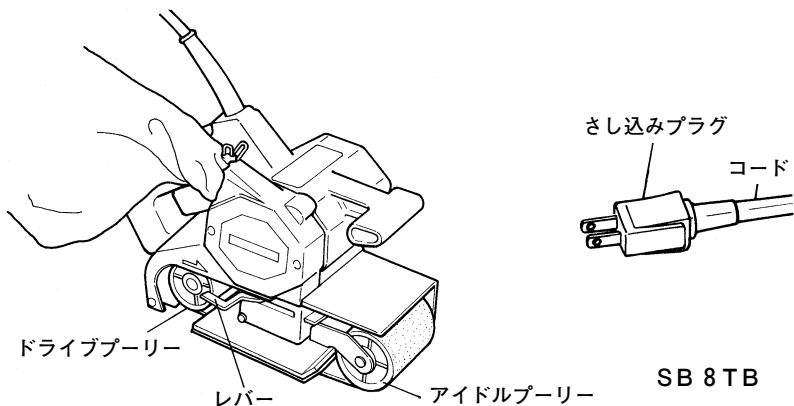
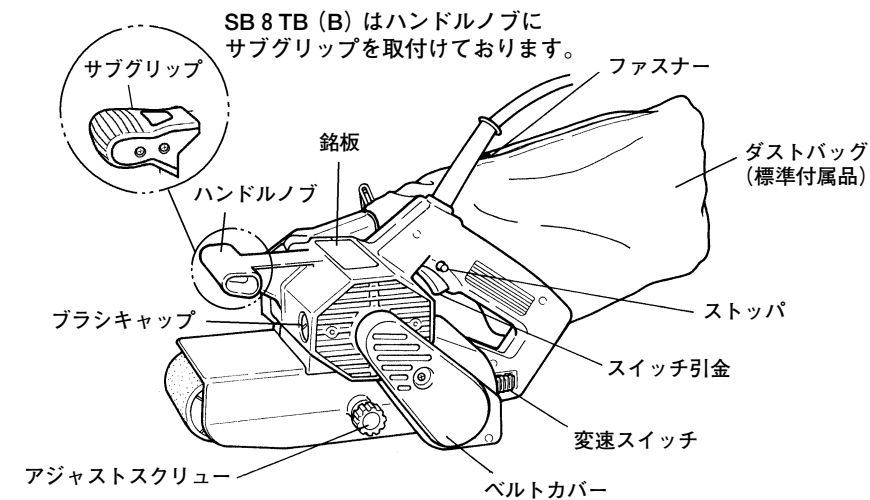


 注 意

- ① 研磨ベルトや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。

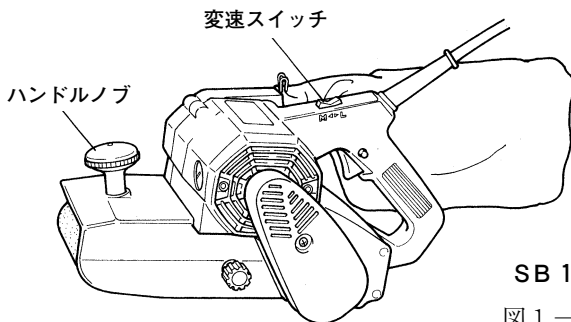
- 注**
- グラスファイバーの研磨には使用しないでください。機体の寿命が著しく低下してしまいます。
 - 衝撃を加えての研磨、ベルトのサイド接触による切断はしないでください。機体に無理な力が加わり、製品寿命が低下してしまいます。また、研磨ベルトが裂ける原因になります。

各部の名称



SB 8 TB

図 1 - 1



SB 11

図 1 - 2

仕 様

項 目	SB 8TB, SB 8TB (B)	SB 11
使用電源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V	
全負荷電流	7 / 10 A	9 / 10 A
消費電力	660 / 950 W	860 / 950 W
研磨ベルト速度 (無負荷)	6 m/s { 360 m/min } 7.5 m/s { 450 m/min } 二段変速	5 m/s { 300 m/min } 5.8 m/s { 350 m/min } 二段変速
研磨ベルト寸法	幅 76 mm × 周長 533 mm	幅 110 mm × 周長 620 mm (幅 100 mm × 周長 610 mm も使用できます)
モーター	単相直巻整流子モーター	
質 量	4.4 kg (コードを除く)	6.9 kg (コードを除く)
コ ー ド	2心キャブタイヤケーブル 5 m	

標準付属品

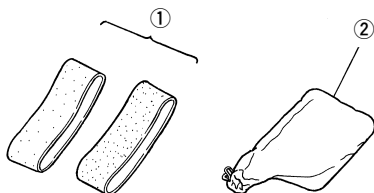


図 2

- ① エンドレス研磨ベルト (WA #80, #120 の 2 種類) 各 1 枚
 ② ダストバッグ 1 個

別売部品

..... (別売部品は生産を打ち切る場合があります)
 ありますので、ご了承ください。

1. エンドレス研磨ベルト SB 8TB, SB 8TB (B) (幅 76 mm × 周長 533 mm) SB 11 (幅 110 mm × 周長 620 mm)

表 1

粒 度	ト粒の種類	粒 度	ト粒の種類
30	AA	150	AA, WA
40	AA, WA	180	AA, WA
60	AA, WA	240	AA, WA
80	AA, WA	320	AA
100	AA, WA	400	AA
120	AA, WA		

注) エンドレス研磨ベルトは、幅 76 mm については 1 種類を 10 枚 1 箱、
 幅 110 mm については 1 種類 5 枚 1 箱として販売しております。
 ト粒と粒度を指定の上、ご注文ください。

2. 電動工具用集じん機

警 告

- 金属表面の研磨等，火花が発生する作業時は集じん機を使用しないでください。集じん機が焼損する原因になります。

本製品は，電動工具用集じん機に接続して使用することができますので，お買い求めの販売店にご相談ください。

用 途

- 木工製品の研磨仕上げ，フローリング仕上げ
- 木材塗装面の下地みがき
- 金属表面の研磨仕上げ
- 金属塗装面の下地みがき，さび落とし，塗り替えの際の塗料落とし

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認……………

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. 継ぎ(延長)コード……………

警 告

- 継ぎ(延長)コードは，損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1. 25 mm ²	15 m
2 mm ²	25 m
3.5 mm ²	45 m

左の表は，使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

3. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に



警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破壊する恐れがあります。また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているの知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと、不意に起動し、思わぬ事故のもとになります。特にベルトサンダの場合、機体が走り出しますのでけがの原因になります。スイッチはスイッチ引金を引くと入り、離すと切れます。

スイッチの引金を引き、離れたときスイッチ引金に戻ることを必ず確認してください。

3. 研磨ベルトを取付ける……………

取付けは14ページの「研磨ベルトの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

4. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。

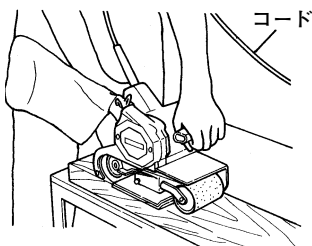
お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

研磨の仕方

警告

- 研磨する場合、水や研削液などは絶対に使用しないでください。感電の原因になります。
- 作業服のそで口がゆるんでいると、研磨ベルトとプーリーに巻き込まれる恐れがあります。
- 作業中は保護メガネを使用してください。また、研磨粉が多く出る場合はマスクもつけてください。

注意



- 研磨ベルトが回転しているときは、床の上に置かないでください。機体が走り出し、けがの原因になります。
- コードは後ろから見て、左側になるようにします。右側になると、コードが、回転する研磨ベルトにより損傷することがあります。(左図参照)

1. 研磨ベルトの位置を調整する……………

スイッチを入れ、少し回転させ、研磨ベルトの回転位置を調べます。回転中、研磨ベルトがドライブプーリー端面から外側に2～3mm出るよう調整してください。

研磨ベルトが内側に寄り過ぎますと、内部に接触して切れやすくなります。位置の調整はアジャストスクリーを回してください。(図3)

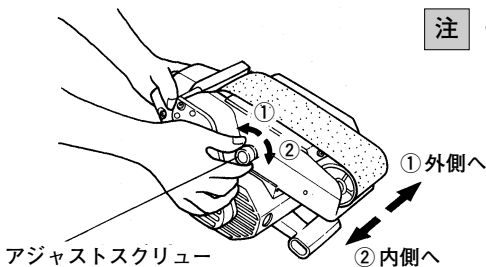


図 3

- 注**
- 作業中に、ずれを生じたときにも、作業を続けながら、同様に調整することができます。

2. スイッチを入れるときは……

機体を加工面から離してスイッチを入れます。研磨ベルトを加工面に接触したまま起動しますと、加工面に大きな傷をつける恐れがあります。

スイッチを切り、停止する場合も同様です。

3. ベルトサンダの持ち方……

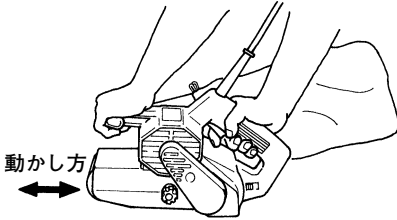


図 4

ハンドルとハンドルノブを持ち、研磨ベルトが加工面に対し、左右一様に当るよう機体を加工面に押し付けます。

必要以上に強く押し付けると、モーターに無理させ、研磨ベルトの寿命を短くするだけで、研磨能率を悪くします。

自重または押付力 29 N {3 kgf} 以内が適正です。

4. ベルトサンダの動かし方……

機体を手元から前方へ移動し、手元に引きもどすという往復運動をくり返します。

(1) 研磨ベルトの選び方

研磨ベルトは作業に適した粒度、ト粒のものをお使いください。

表 2

仕上げの程度	粒 度
荒仕上げ	30～40
中間仕上げ	40～100
仕 上 げ	80～240
上 仕 上 げ	180～400

表 3

ト粒	用 途
AA	鋼材用
WA	木材、竹材用
	(WAの粒度は40, 60, 80, 100, 120, 150, 180, 240の8種類です。)

(イ) 粒度の種類については8ページ「別売部品」の表1を参照してください。

(ロ) 粒度は手作業の場合と比べ、荒目のものをお選びください。

(ハ) 被研磨面が一様に研磨されるまでは同一粒度の研磨ベルトをご使用ください。仕事途中で粒度の違う研磨ベルトに取り替えますと、きれいに仕上がらないことがあります。

5. スイッチの操作……………

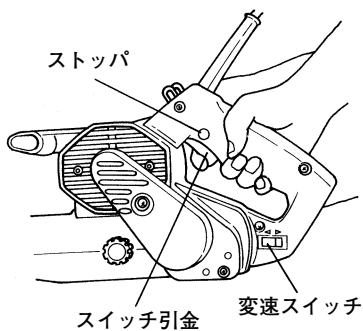


図 5

スイッチは引金を引くと入り、ストップ(図5)を押すと、指を離しても、スイッチは入ったままになっており、連続運転に便利です。

切るときは再び引金を引きますとストップははずれます。

また「高速」「低速」の切替えは変速スイッチ(図1参照)で行ないます。Lは「低速」、Hは「高速」を示しております。

作業の種類および研磨材の種類に適した研磨速度を選び、能率よくお使いください。

6. すみ部を研磨するには……………

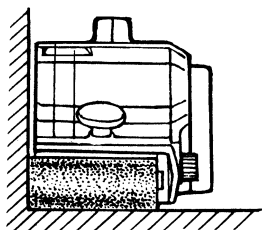


図 6

本機は、図6のように、アジャストスクリューを回して研磨ベルトがダストカバーと一致する様にして作業しますと垂直面真下のすみの部分を研磨することができます。

研磨ベルトの取付け・取りはずし

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

取付け方

1. レバーを手元に引く……………

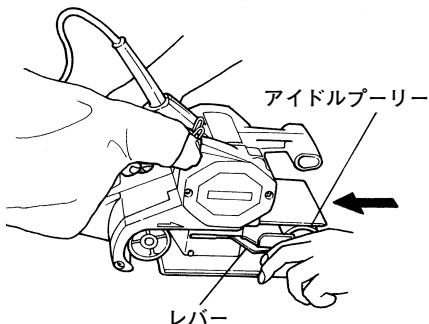


図 7

ベルトサンダ本体を支え、指でレバーを手元に引くと、アイドルプーリーは矢印のように後方へ移動し、研磨ベルトが掛けられます。

2. 研磨ベルトをプーリーに掛ける……………

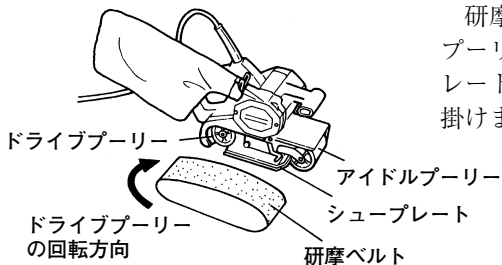


図 8

研磨ベルトは、内側の矢印をドライブプーリーの回転方向に合わせ、シュープレートの外側を通して2つのプーリーに掛けます。

- 注** • 研磨ベルトは内側の矢印方向に注意し、確実にプーリーに掛けてください。矢印方向を間違えると作業能率が下がり、研磨ベルトの接合部がはがれる原因になります。

3. 研磨ベルトを張る……………

注 意

- レバーで指が叩かれるときがあるので注意してください。

注 • 研磨ベルトを張った後、研磨ベルトの位置を調整する必要があります。やり方については11ページ研磨の仕方の第1項「研磨ベルトの位置を調整する……」をご参照ください。

指でレバーを奥へ押しますと、アイドルプーリーは前方に戻って、ベルトは適当な張りになり、作業する状態になります。

取りはずし方

図7と同じようにしてレバーを手元に引くと、研磨ベルトは張りがゆるみ、簡単にはずせます。

粉じんの除去

ダストバッグの中の粉じんが溜まりすぎますと、集じん効果が落ちてしまいます。

ダストバッグの中の粉じんが約7割程度になったときに除去しますと、集じん効果が高く、能率よく作業できます。

粉じんの除去は次のように行なってください。

- (1) サポートバーをゆるめ、ダストバッグを取りはずします。
- (2) ファスナーを引きますと口が開きます。

保守・点検

警 告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. 研磨ベルトの点検……………

研磨ベルトの砥粒が摩滅したり目つまりしたりすると、研磨ベルトの切れ味が悪くなり、極端に能率が低下しますので新品と交換してください。

2. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。
ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3. カーボンブラシの点検……………

SB 8TB, SB 8TB(B)

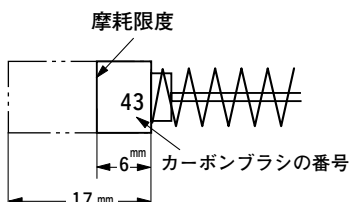


図 9 - イ

SB 11

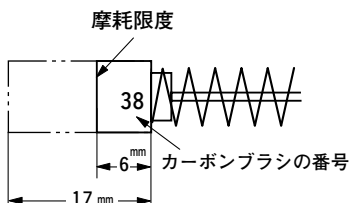


図 9 - ロ

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーター故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(6 mm)ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注 • 新品と交換の際は、必ず図示の番号の日立カーボンブラシを使用してください。

交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ(図 1 参照)をはずしますと取り出せます。

(番号 43 および 38 はコード No. の下 2 桁を示しております。)

カーボンブラシの番号

SB 8TB, SB 8TB(B) の場合は (43)

SB 11 の場合は (38)

4. モーター部の取扱いについて……………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり、洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 • モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。
使用後は、モーターを無負荷運転させて、風を送りますとゴミやほこりの排出に効果があります。

5. 表面のよごれ清掃……………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6. 作業後のダストバッグの掃除について……………

作業後は必ずダストバッグを掃除し、粉じんを取り除いてください。

7. 製品や付属品の保管……………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|--|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○ 軒先など雨が降ったり、湿気のある場所○ 温度が急変する場所○ 直射日光の当たる場所○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|--|---|---------------------|

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

メ

モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼される時便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目(日生ビル)	☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル)	☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号(スノークリスタル)	☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)	☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981	☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

- 電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター 0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

